

企画展 杉浦非水 時代をひらくデザイン

2021年7月3日(土)～8月30日(月)

日本のグラフィックデザインのパイオニア ゆかりの地、石見で初めての回顧展

杉浦非水(すぎうらひすい・1876～1965)は日本の商業デザインの近代化に大きく貢献した人物です。愛媛県松山市に生まれ、東京美術学校で日本画を学びますが、在学中にフランス帰りの洋画家・黒田清輝がもたらしたアールヌーヴォー様式のポスターなどに魅せられ、図案家、今でいうグラフィックデザイナーとしての活動を始めます。

1908(明治41)年に三越呉服店に入社した非水は図案部初代主任をつとめ、1934(昭和9)年に退社するまで27年にわたり同店のポスターやPR誌のデザインを一手に担いました。

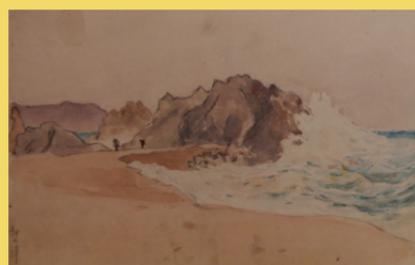
三越での仕事以外にも、様々なポスターや雑誌の表紙、本の装丁を手がけ、明治時代末期から昭和時代中期のデザインをリードしました。華やかでモダンなデザインは、現在も私たちを魅了し続けています。

本展では初期から晩年に至る非水の仕事を紹介すると同時に、交友の画家の作品や非水が収集した資料の展示により、その全貌をふりかえります。

*作品の所蔵表記がないものは、全て愛媛県美術館所蔵



《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》 1927(昭和2)年



《画帖(島根時代)》より「都の津」 1904年

スケッチブックが語る、石見での日々

非水(当時は本名の「杉浦朝武」)は、1904(明治37)年4月から翌年11月にかけて島根県第二中学校(現在の島根県立浜田高等学校)で図画の教員をしていました。その頃のスケッチブックには石見の海や山、人々の暮らしなどが描かれており、非水の身の回りや、当時の石見のことが分かります。小さな画面から、約120年前にタイムスリップしてみましょう。

夏の旅行のお供に……
杉浦非水の
石見写生地マップを
制作、配布予定!

- 【主催】 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、毎日新聞社、BSS山陰放送
- 【後援】 芸術文化とふれあう協議会 【協賛】 ニューカラー写真印刷株式会社
- 【特別協力】 株式会社三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館 【企画協力】 愛媛県美術館
- 【休館日】 毎週火曜日
- 【開館時間】 9:30～18:00(入館は17:30まで)
- 【観覧料】 [企画展] 一般:1,000(800)円、大学生:600(450)円、小中高生:300(250)円
[企画・コレクション展セット] 一般1,150(920)円、大学生700(530)円、小中高生:300(250)円
※()内は、20名以上の団体料金
[前売券] 一般:900円(企画・コレクション展セット)
- 【問合せ先】 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館
TEL 0856-31-1860 FAX 0856-31-1884 <http://www.grandtoit.jp>
担当: [広報] 吉岡、田原 [学芸] 川西

展示総数約300点! 明治・大正・昭和のモダンライフをいどった非水デザイン

ポスター

高級呉服から食料品まで、
ワクワクするイメージを展開

アールヌーヴォー調で
ゴージャスな美的生活を演出
《三越呉服店 春の新柄陳列会》
1914(大正3)年

キュートな動物たちも活躍!
《爽快美味滋強飲料 カルピス》
1926(大正15)年

お醤油だって、こんなにポップに!
《ヤマサ醤油》 1920年代

雑誌と書籍 時に優美に、時にクールに……手に取りたくなる魅惑のブックデザイン

(左から)
『みつこしタイムス』
第8巻第5号
1910(明治43)年
『ツーリスト』第18号
1916(大正5)年
『現代日本文学全集 第十一編
正岡子規集』(並装版)
1928(昭和3)年 個人蔵

三越の「顔」、非水の表紙
が毎号楽しみなPR誌

シンプルに日本の観光を表現、
ジャパン・ツーリスト・ビューロー
(JTB)の機関紙

アールデコ調でいどる、
同郷の俳人・子規の全集

デザインをひろめる活動

トップランナーとして普及活動にも尽力

『アフィッシュ』第1年第1号
1927(昭和2)年
日本初のデザイン研究団体
「七人社」のポスター研究雑誌

『非水創作図案集』1926(大正15)年
デザインのお手本「図案集」を多数発行。
芸術版画と植物図譜の融合「非水百花譜」はその白眉!

『非水百花譜』
1929-34(昭和4-9)年
より「木蓮」